

# 眼科手術後洗顔・洗髪を長期間禁止される事への不快感調査

Discomfort investigation to being prohibited face-wash, shampoo  
after an ophthalmology operation for a long term

東5階病棟

鴫田恵子 矢島ひろみ 遠藤洋子 大曾契子

〈要旨〉眼科手術後患者は眼の安静と感染予防のために洗顔や洗髪に制限がある。術後洗顔・洗髪の開始時期について述べた先行文献は少なく、術後洗顔・洗髪の開始時期と術後感染の関係性のエビデンスはない。そこで眼科手術後患者に対して、洗顔・洗髪を長期間禁止されることへの不快感を調査した結果、洗顔・洗髪を長期間制限されることで不快感を抱く患者が多くいることがわかった。洗顔は、術後から顔面清拭の指導をしているが、視力障害や手術した眼を触ることへの恐怖感があるため、顔面清拭の方法には個人差があった。また、洗髪については、術後3日目までに洗髪をしたいという希望が多かった。今後、顔面清拭の指導方法の統一をすると共に、術後早期から患者自身での洗髪や洗顔が開始できるよう検討が必要である事が示唆された。

キーワード：眼科手術後、不快感、清潔

## I. はじめに

眼科手術後の患者には、手術した眼の安静と術後感染予防の目的で洗顔や洗髪に制限がある。当病棟での眼科手術後の頭部の保清行為は、術後1週間は患者自身で洗顔と洗髪を行なうことが禁止されている。そのため、術後腹臥位安静の必要な患者には術後5日目に、非腹臥位の患者には3日目から看護師が介助で洗髪を行っている。洗顔に関しては、術後1日目から顔面清拭をするように指導している。先行研究によると、眼科術後の洗顔・洗髪開始時期について述べた文献は少なく、術後洗顔・洗髪の開始時期と術後感染の関係性のエビデンスの記載はなく施設によって洗顔・洗髪の開始時期が違っていることがわかっている。

眼科術後の眼周囲は、流涙や眼脂などの分泌物により汚染が目立ち、さらに点眼をすることにより、分泌物が眼内へ流入しているように見受けられる。また、眼科手術後洗顔・洗髪を長期間禁止される事に対し不快感を訴える患者が多く見られる。

そこで、眼科術後患者に対する洗顔・洗髪への看護師のケアを検討する目的で、眼科術後洗顔・洗髪を長期間禁止される事への不快感の実態調査を実施したので報告する。

## II. 目的

眼科手術後患者の清潔動作の実態と洗顔・洗髪を長期間禁止される事で感じる不快感の現状を明らかにする。

## 〈用語の定義〉

1. 顔面清拭：湯または水で絞ったタオルで顔面を拭く事。

2. 不快感：不愉快に思う気持ち。その人にとって愉快ではない心情。
3. 洗顔：流水で顔面を洗う事。
4. 洗髪：流水で頭部を洗う事。

## III. 研究方法

1. 調査期間：平成23年6月1日～11月30日
2. 対象：研究期間内に緑内障、網膜剥離、糖尿病網膜症、黄斑円孔、硝子体出血で手術し、術後洗顔・洗髪に制限がある患者

### 3. 方法

1) 質問紙調査：眼科手術終了後に看護師が文書を用いて研究目的や回答方法を説明しながら、アンケート用紙を配布する。配布時期は自己洗顔・洗髪が許可となる術後7日目とする。自己記載方式で回答してもらい、病棟内に設置した回収箱に投函を依頼する。視力低下によりアンケートに記入できない患者のうち、同意が得られた患者は看護師が代筆を行う。

2) 調査内容：調査用紙は独自に作成し、アンケートの内容は次の項目を入れた。(1) 術後顔面清拭を行なった頻度 (2) 顔面清拭した部分 (3) 洗顔できない不快感の程度 (4) 洗顔をしたいと思ったかどうかとその時期 (5) 洗髪できない不快感の程度 (6) 洗髪をしたいと思ったかどうかとその時期。(資料1)

3) 分析方法：調査用紙から得られたデータの単純集計、比較を行う。

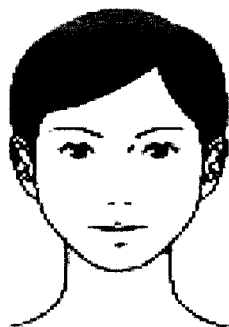
## 眼科の手術を受けた患者さまへ

1. あなたの年代に○をつけてください。

2. あなたの性別に○をつけてください。

3. 手術後1日目～6日目の洗面はどのようにしていましたか？当てはまる番号に○をつけてください。

4. 顔のどの部分を拭いていましたか？拭いていた部分を塗りつぶしてください。



- 4                  3                  2                  1                  0
- |                  |                  |                  |                  |

全く感じない

6. 洗顔したいと思った事がありますか？

①あった→ (     ) 日頃から洗顔したいと思っていた。      ②なかった

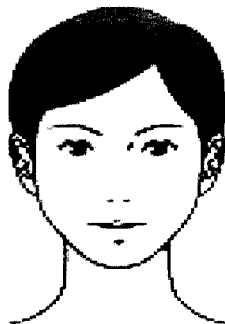
7. 洗髪できない事で不快感はありましたか？非常に強く不快に感じていた場合を4，全く感じなかった場合を0として，当てはまる数字に○をしてください。

4	3	2	1	0
<hr/>				
非常に強く感じる			全く感じない	

8. 洗髪したいと思った事がありますか？

①あった→ (     ) 日頃から洗髪したいと感じていた。      ②なかった

9. どの部分に不快感を感じていましたか？不快感を感じていた部分を塗りつぶしてください。



ご協力ありがとうございました。眼科診察室前に回収箱がありますので，投函してください。

看護師 鴫田，矢島，遠藤，大曾

#### IV. 倫理的配慮

本研究は信州大学医学部附属病院倫理審査委員会の承認を得て行なった。対象者への調査依頼は研究の目的と意義、および倫理的配慮を記載した依頼文を用いて、研究目的以外で調査結果を使用しないこと、協力は対象者の自由意志であること、協力が得られなくても不利益を受けないこと、データは集計の際に個人が特定されないよう配慮することを説明し、調査用紙の提出を持って調査協力の同意が得られたものとした。

#### V. 結果

配布数123名、回収数101名（回収率82.1%）、有効回答数93名（75.6%）であった。対象患者の術後体位は腹臥位患者が40名（43%）、非腹臥位患者が53名（57%）であった。

洗顔に関して、術後の顔面清拭を行なった頻度は、毎日清拭していたのは93名中56名（60.2%）、2～3日に1回清拭していたのは23名（24.7%）、清拭していないのは5名（5.3%）、その他は9名（9.6%）であった。顔面清拭していた部分は、両眼瞼周囲を清拭しない患者は93名中27名（29.0%）、手術した眼瞼周囲を清拭しないのは45名（48.4%）、眼瞼のみ清拭するのは5名（5.4%）、全く清拭しないのは5名（5.4%）、顔面全体を清拭するのは11名（11.9%）であった。

洗顔できない不快感は、93名中27名（29.0%）がとても不快、15名（16.1%）が不快、28名（30.1%）がどちらでもない、16名（17.2%）があまり不快ではない、7名（7.5%）が不快ではないと回答した。（図1）

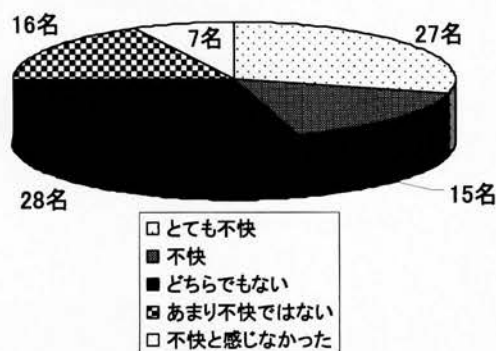


図1 洗顔できない不快感 (n=93)

2) 洗顔できない不快感：体位別の洗顔できない不快感は、腹臥位患者では、40名中4名（10%）がとても不快、6名（15%）が不快、13名（32%）がどちらでもない、7名（18%）があまり不快ではない、10名（25%）が不快ではないと回答した。（図2）非腹臥位患者では、53名中3名（5.7%）がとても不快、10名（19%）が不快、15名（28%）がどちらでもない、8名（15%）があまり不快ではない、17名（32%）が不快ではないと回答した。（図3）

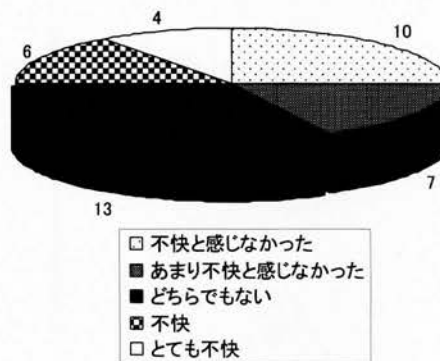


図2 洗顔できない不快感 腹臥位 (n=40)

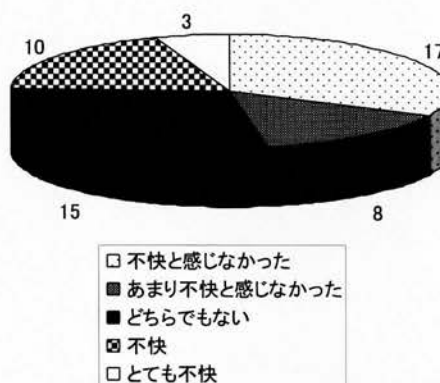


図3 洗顔できない不快感 腹臥位以外 (n=53)

洗顔を希望する患者は93名中58名（62.4%）おり、そのうち24名（41.2%）が術後1日目に、15名（16.1%）が2日目に、15名（16.1%）が3日目に、1名（1.7%）が4日目に、2名（3.4%）が6日目に、1名（1.7%）が7日目に洗顔したいと思ったと回答した。（図4・5）

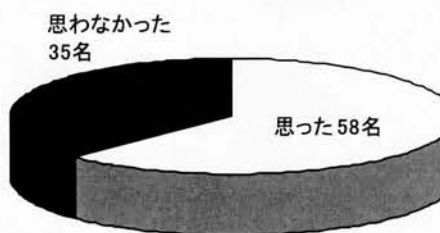


図4 洗顔したいと思ったか (n=93)

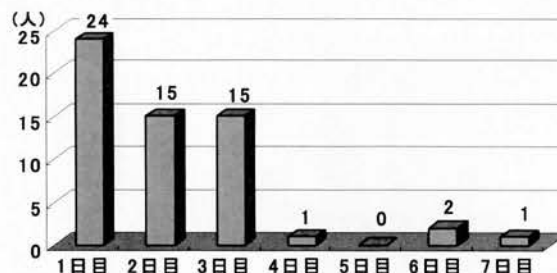


図5 洗顔したいと思った日 (n=93)

3) 洗髪できない不快感：洗髪できないことを93名中16名(17.2%)がとても不快, 21名(22.6%)が不快, 24名(25.8%)がどちらでもない, 20名(21.5%)があまり不快ではない, 12名(12.9%)が不快ではないと回答した。(図6)

洗髪を希望する患者は93名中68名(73.1%)おり, そのうち14名(20.6%)が術後1日目に, 17名(25%)が2日目に, 29名(42.6%)が3日目に, 4名(5.9%)が4日目に, 3名(4.4%)が5日目に, 1名(1.5%)が6日目に洗髪をしたいと思ったと回答した。(図7・8)

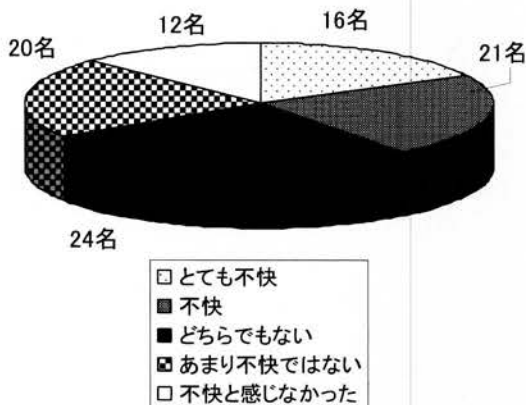


図6 洗髪できない不快感 (n=93)

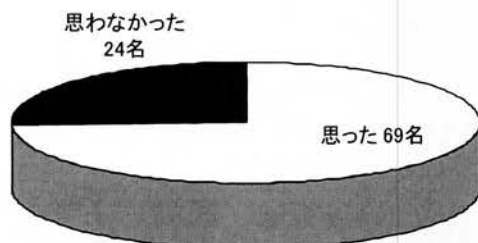


図7 洗髪したいと思ったか (n=93)

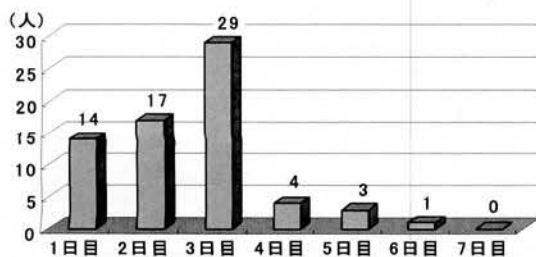


図8 洗髪をしたいと思った日 (n=93)

## VI. 考察

眼科手術後, 長期間洗顔・洗髪ができない事で多くの患者が不快感を訴える。その原因として, 洗顔・洗髪に制限があること, 術眼を触る事への恐怖感があるのではないかと考える。流涙や眼脂などが点眼薬と共に眼瞼周囲から目の中へ流入すると感染の原因になりうるため, 眼科術後の患者にとっては, 顔面の保清は重要であると思われる。そして何より, 約9割の患者が術後3日目までに自己洗顔・自己洗髪の開始を希望している現状がある。術後洗顔・自己洗髪の開始時期と術後感染の関係性のエビデンスははっきりしておらず, 看護師の介入方法で現状を変えられる可能性がある。今後, 手術した眼をドレッシング剤などで保護し, 術後早期からの自己洗顔・洗髪の実施を検討していく必要があると考える。

また, 顔面清拭の方法が患者によって個人差があることが分かった。原因としては, 視力障害のために眼周囲の汚れに気がつかず清拭していない可能性や手術した眼を触る事への恐怖感, さらに看護師からの清拭方法の説明が不十分である可能性も示唆される。現状では, 術後1日目に看護師が口頭で濡れたタオルで顔を拭いて下さいと指導している。視力障害や床上安静のために自分で顔面清拭を行えない患者に対しては, 顔面清拭を看護師が介助で行っている状況である。今回の結果から, 清拭方法の指導を統一するとともに, 術眼周囲の清拭が不十分な患者に対し, 顔面清拭の介助を行う必要があると考える。

腹臥位の患者は顔にクッションが長時間接している(図9)。そのため研究者は, 洗顔できない不快感は腹臥位の患者が非腹臥位の患者よりも強いのではないかと予想したが, 術後体位による洗顔できない不快感に大きな差はなかった。それは術後体位に関わらず術後1日目から顔面清拭ができるためであると考えられる。したがって, 顔面清拭の指導方法は術後体位に関係なく統一した方法がよいと考える。



図9 例) 腹臥位安静

## VII. 結論

1. 眼科手術後，洗顔・洗髪できない事に対する不快感が大きい。
2. 顔面清拭の方法・洗髪方法の見直しと開始の時期を検討が必要。

## VIII. 参考文献

1. 野正誉：白内障術後の保清開始時期についてのアンケート調査，臨床眼科，61巻（8号），1529-1531，2007
2. 倉重由美子：術後洗顔の有無からみた白内障手術前後の培養検査結果，日本眼科学会誌，114巻（9号），791-795，2010